



リジエネ旅

広告媒体資料

株式会社アスエク

2026.01

01

媒 体 情 報

リジェネ旅 が目指す、 持続可能で再生的な観光の未来。

世界の観光は今、大きな転換期を迎えています。

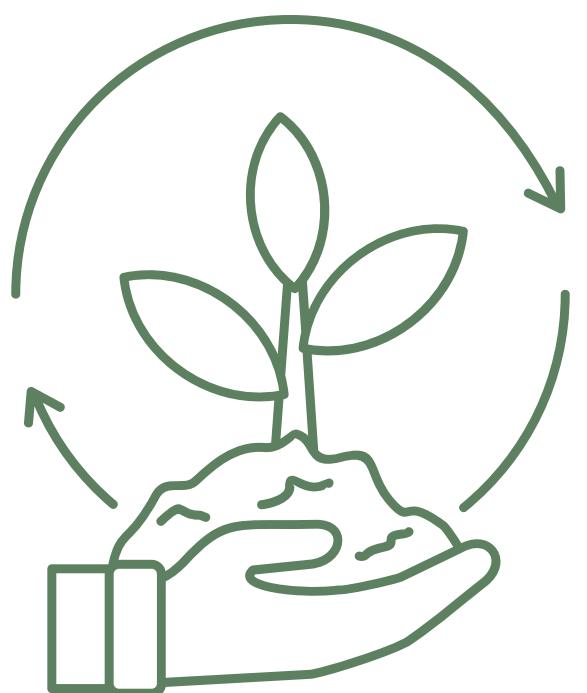
かつての大量消費型の観光から、地域の環境や文化、そして人々の暮らしに配慮した
「サステナブルツーリズム（持続可能な観光）」への移行は、もはや不可欠なトレンドです。

しかし、私たちは、その一步先を見据えています。

それは、単にマイナスをゼロに戻す「持続可能」という考え方だけではありません。
関わることで地域がより豊かに、より良い状態へと**「再生」**していく未来。

それが**「リジェネラティブツーリズム（再生型観光）」**です。

「リジェネ旅」は、このリジェネラティブツーリズムの理念を日本、そして世界へと広め、
ツーリズムを通じてより良い未来を共創していくことを目指す専門メディアです。



「リジェネ旅」について

専門特化

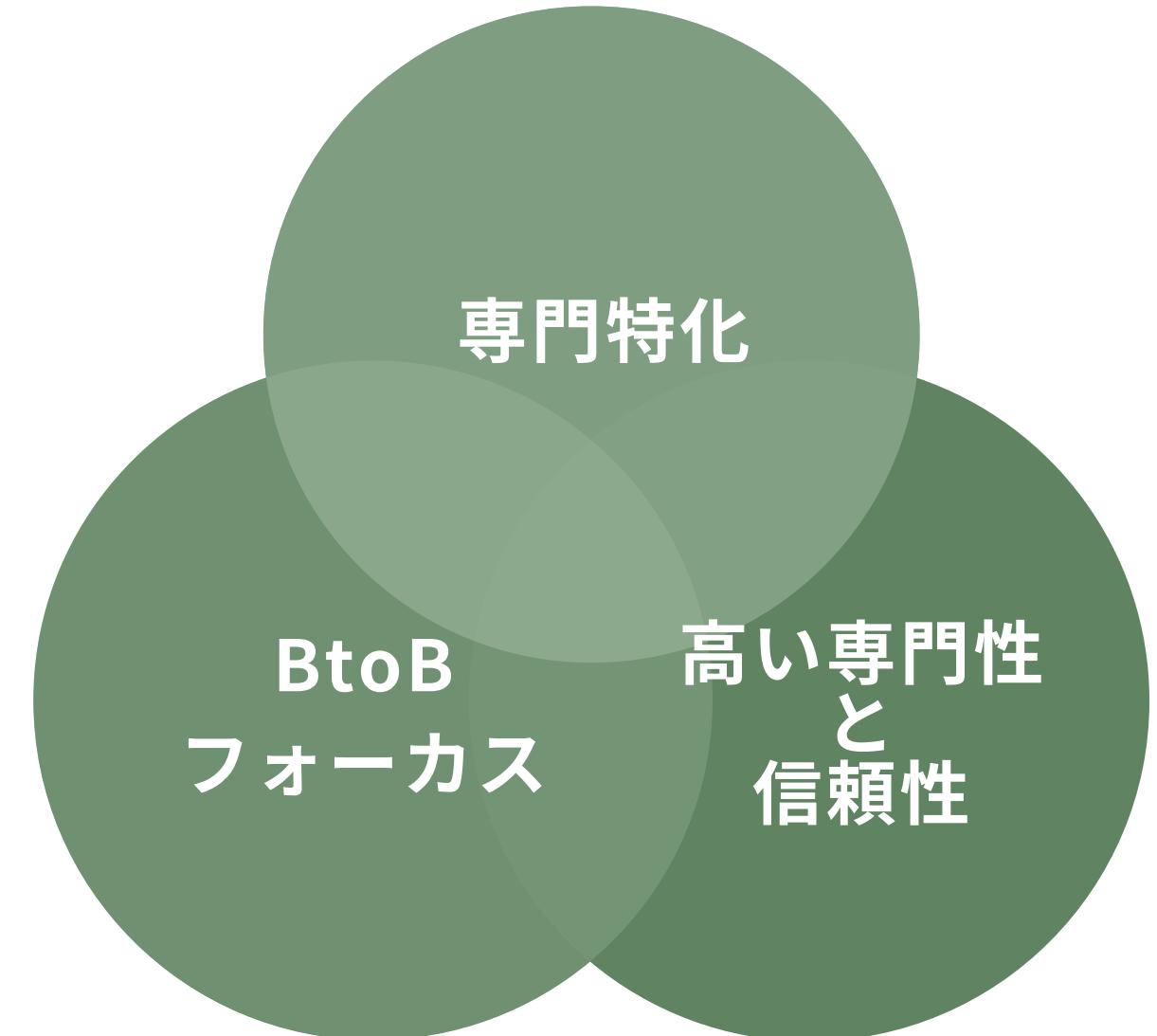
日本でも注目が高まる「リジェネラティブツーリズム」「サステナブルツーリズム」に完全特化。

BtoBフォーカス

観光産業の意思決定層・実務担当者（観光地、旅行代理店、宿泊事業者など）へダイレクトにリーチ。

高い専門性と信頼性

GSTC資格保有者が情報発信に関与。
業界の最新動向、先進事例、実践ノウハウを深く掘り下げて提供。



運営会社：株式会社アスエク

<https://asueku.com>



リジェネ旅



リジェネラティブツーリズム専門 WEBメディア

<https://regenetabi.jp/>



- ▶ 月間表示回数：300,000 PV
- ▶ メールマガジン登録者数：5,000件
- ▶ メールマガジン反応率：30～40%

「リジエネ旅」のコンテンツ紹介

リジェネラティブツーリズムの理念から具体的な実践まで。
読者の「知りたい」に応え、「行動」へと繋げる、専門的で質の高いコンテンツをお届けします。

国内外の先進事例（ケーススタディ）

実践のヒントや成功のポイントを、
専門家の視点で分かりやすく解説します。

特集・深掘りレポート

リジェネラティブに関する特定のテーマを多角的な視点で深く掘り下げ。

東京都小笠原村

A scenic view of the Zillertal valley in Austria, featuring a turquoise lake at the base of snow-capped mountains. Two hikers are walking along a wooden boardwalk in the foreground. The image is framed by a red curved line.



ペネディクト・ペーゼルは、ビジネスファイナンスと農業経済学の学位を持ち、金融業界での経年に家族経営だった農場を引き継ぎました。これまでの伝統的な農業から再生型農業に転換する世代にとって生きるに値する世界を残すことを目的としています。

しかし、多様な気候条件に対応できる農業システムを構築し、健全な土壌を作ることで、生態系の対策が可能になります。また、自然との共生だけでなく、地域経済や地域住民の生活とも調和しながらが実現するのです。

「Cとは

引用 : [GSTC](#)

ナブルな観光をしたいと思っている旅行者にとって、旅行先や宿泊先選定の一つの基準が、世界持続可能観光協議会（GSTC=Global Sustainable Tourism Council）が策定した国際基準（C=Global Sustainable Tourism Criteria）は、観光業界がサステナブルツーリズムを実現する基準を設けています。

この基準は2種類あり、一つは公共政策の立案者や観光地のマネージャー向けの「地域向け基準」やツアーオペレーターを対象とした「観光産業界向け基準」です。

クライティアは、観光業における持続可能性に関する共通の言語を作るための世界的な取り組み。この基準は、(A)持続可能な経営、(B)社会経済への影響、(C)文化への影響、(D)環境への影響に分かれています。観光地ごとに異なる文化や環境、法律に対応できるように、基準は柔軟に対応するようになっています。

基準は、ホテルや宿泊施設、ツアーオペレーター、観光地が持続可能な方針や実践を備えており、認証機関による「認定」において基礎となるものです。なお、GSTC自体が製品やサービスを直接認証する機関であるASI（Assurance Services International）を通じて、認証機関を「認定」しています。

は、米国で非営利団体（501(c)(3)）として法的に登録された独立した中立的な組織で、国や州、市町村、企業、ホテル、ツアーオペレーター、NGO、個人、コミュニティなど、多様で国際的なメンバーシップを持つ組織です。GSTCは物理的な本部を持たない世界6つの大陸にスタッフやボランティアを配置しています。寄付やスポンサーシップ、会員登録によって、低コストでサービスを提供し、GSTC基準の作成・改訂・公開が可能です。

「リジェネ旅」のコンテンツ紹介

リジェネラティブツーリズムの理念から具体的な実践まで。

読者の「知りたい」に応え、「行動」へと繋げる、専門的で質の高いコンテンツをお届けします。

実践者インタビュー

業界の垣根を越え、リジェネラティブな取り組みを実践するリーダーに焦点を当てます。

D&Iの実現において「I」が重要なキーワード

市川：オムロン太陽の障い者雇用の取り組みはもちろん、留学生を多く受け入れているAPU（平洋大学）の存在も相まって、別府市は多様性に溢れた街ですね。車いの方が多く働いていた国籍の留学生を見たりしていると、D&Iでは何よりもインクルージョン（包括性）の「I」が大事だかされました。

辻：從来のD&Iという言葉ではなく、I&D、つまりインクルージョンを先に置くことが重要かも。多様な人々が組織に存在することは、ダイバーシティの前提ですよね。多様な人々が互いに交わり、それがインクルージョンであり、D&Iの本質であると考えています。



市川：D&Iを実現するためには、経営陣が率先してマジョリティ・マイノリティという区別がない意志を示すことが不可欠だと考えています。公平性を大事にしたDEI（ダイバーシティ・エクルージョン）の重要性も問われますね。

ブックにはスキー場が実際に取り組めるアクションが書かれていますが、どのようにから取り組むのが良いでしょうか？

のスキー場が具体的なアクションを始める前に、「取り組み体制の確立」が重要だと思います。担当者がやるぞ！って積極的になっても、そもそも担当する部署がないことも。誰も担当する人がなかプロジェクトが進みません。

テナブルな事業に取り組まれている事業者さんの中には、担当部署が新設されたり、営業など他任せされているケースもあります。担当者の方々が「脱炭素が企業にとって重要な取り組み」とことが重要だと思います。



提供：POW JAPAN

ドブックの中にある「実際にやってみよう」のページで、まず最初に「仲間をつくる」と書かれていました。

目標で書こう！って決めて、まずは現状を把握するところから始めました。現場を見て気付いた前の仕事でいっぱいになっているスキー場が多く…。サステナブルな事業を考えても、専門の企業は少なかったです。

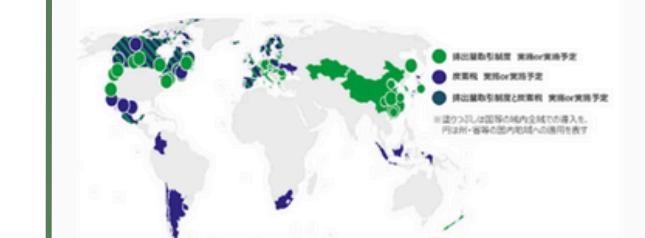
エキスパート・コラム

観光やサステナビリティ分野の有識者はじめ、多様な分野の専門家が独自の視点で論考を寄稿。

→後の炭素税の動向との関係

25年前で、炭素税と関連が深いカーボンプライシングの導入国をまとめると下図のようになります。

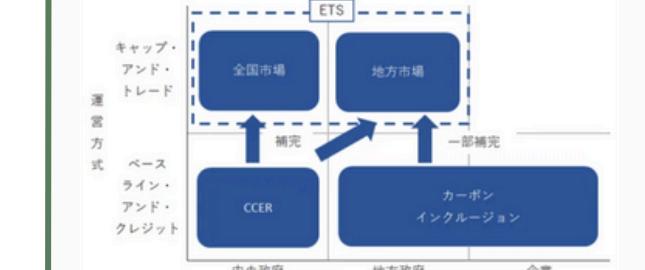
【第131-1-1】カーボンプライシングの導入国（2022年4月時点）



引用元：経済産業省 資源エネルギー庁

すでに導入実施している国や実施予定の国が多く、CO2排出量が世界第1位の中国でも導入されています。世界での導入が加速しており、例えば中国でのカーボンプライシング制度は、以下のようになっています（下図参照）。

図：中国のカーボンプライシング・カーボンクレジット制度



運営方式
キャップ・アンド・トレード
ベース・ライン・アンド・クレジット
ETCS
CCER
全国市場
地方市場
中央政府
地方政府
運営主体
企業
一部補完
一部補完

引用元：独立行政法人日本資源振興機構

2024現地レポート・ホテルチェーンのサステナビリティ戦略

ブルワーリズム GSTC サステナブルツーリズム 企業事例 持続可能な観光 ◎ 2024-11-25 ~ 2024-11-27



2024の会期中に行われたパネルディスカッションで、特に注目された業種は「宿泊業」です。これまでも議論がリーダーシップを取り、GSTC基準を積極的に推進する動きが中心的でした。

2024年から宿泊業がサステナビリティ戦略のマスター・プラン策定から「マスター・プラン実行」へ移行することで、宿泊業のサステナビリティの取り組み事例が大幅に増えています。ラグジュアリーホテルの取り組みの紹介もありました。

では、グローバルに展開しているホテルチェーンの取り組みを中心に解説します。

「リジェネ旅」のコンテンツ紹介

メールマガジン

週に2回、メールマガジンを配信しています。
注目の新着記事とともに関連記事をご紹介。

YouTube

日々の暮らしにサステナビリティを取り入れる
ポイントなどの情報発信を行っています。



メジャーリーグベースボールが環境配慮！
スポーツ界にも広がるサステナビリティの波

メジャーリーグベースボール（MLB）のサンディエゴ・パドレスが、環境保護取り組みを評価する「グリーン・グローブ賞」を球団史上初めて受賞したと飛び込んできました。

ペトコ・パークで、廃棄物の95%以上を埋め立て処分しない「廃棄物転換基点や、省エネのための積極的な設備投資が、今回の受賞につながりました。

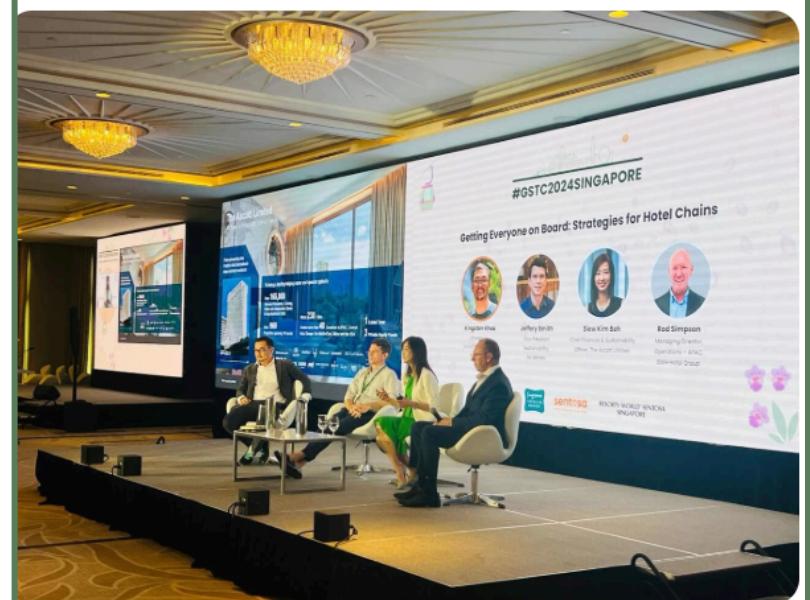
記事では、パドレスの快挙を詳しくお伝えするとともに、MLB全体で加速への取り組みを深掘りしています。

気なく楽しんでいるスポーツの裏側で、実は環境への配慮が進んでいるかもしれません。

サンディエゴ・パドレスが球団初の「グリーン・グローブ賞」受賞
MLBで広がる持続可能性への取り組み

記事を読む

おすすめ記事



GSTC2024現地レポート・ホテルチェーンのサステナビリティ戦略

GSTC2024の会期中に行われたパネルディスカッションで、特に注目された業種は「宿泊業」でした。

これまで国やディスティネーションがリーダーシップを取り、GSTC基準を積極的に推進する動きが中心的でした。

しかし、2024年から宿泊業がサステナビリティ戦略のマスタープラン策定から「マスタープラント実行」へと本格的に移行していることで、宿泊業のサステナビリティの取り組み事例が大幅に増えています。ラグジュアリーブランドはもちろんのこと、ホステルの取り組みの紹介もあります。

本記事では、グローバルに展開しているホテルチェーンの取り組みを中心に解説します。

もっと読む

その他の新着記事

「リジェネ旅」の読者

持続可能な未来を共創する、多様な業界の意思決定者・リーダー層

リジェネラティブな思想を事業や組織活動、人材育成のフィールドに実践したいと考える、未来志向の行動的なリーダーたちが読者です。

企業のサステナビリティ・人材開発部門

大手・中堅企業の人事、人材開発、サステナビリティ推進部門の責任者・担当者

観光産業

- 地方自治体、DMO、観光協会関係者
- 旅行代理店、ツアーオペレーター
- ホテル、旅館など宿泊事業者

非営利セクター / 教育機関

- NPO/NGO法人の代表、プログラム責任者
- 大学、研究機関の教員、研究者



読者の声

持続可能な未来の実現に向けて活動されている、さまざまな業界のリーダーや実務担当の方々に、「リジェネ旅」は日々ご活用いただいています。

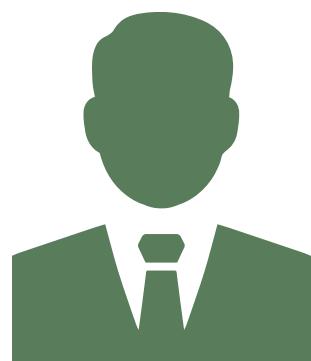


情報量と熱意に、圧倒されました。

海外のサステナビリティ事例を深掘りする中で「リジェネ旅」に辿り着きました。

その圧倒的な情報量と質の高さに驚嘆しています。

(女性支援NPO法人 代表理事 様)

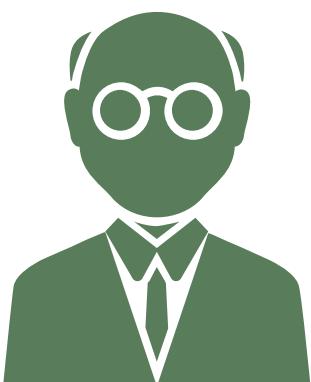


メルマガは欠かせない情報源です。

いつも「リジェネ旅」のメルマガを愛読しています。

新たなマーケティング戦略を考える上で、気づきとヒントを与えてくれます。

(環境保全関連企業 様)



「社会に必要な視点とメディア」だと感じます。

環境問題をリジェネラティブという切り口で捉え直し、アクションを促す情報を発信し続ける

メディアの存在は、これからの中にとって大切だと感じています。

(大学 社会学 教授 様)

02

サービス紹介

サービス紹介

「リジェネ旅」では、リジェネラティブツーリズムに関心の高い質の高い読者層へ、貴社のメッセージを効果的に届けるための広告メニューをご用意しております。

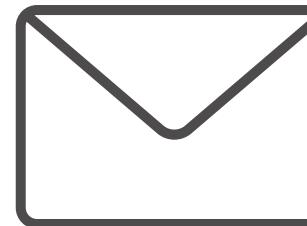
専門メディアならではの視点とネットワークを活かし、貴社のブランディング、リード獲得、そして持続可能な社会への貢献をサポートいたします。

記事広告



編集部が独自の視点から
丁寧に取材・執筆

メルマガ広告



質の高い登録者へ
ダイレクトに情報をお届け

記事広告（タイアップ記事）

貴社のリジェネラティブツーリズムへの取り組み、
サステナブルな製品・サービス、先進的な地域活性化の事例などを
「リジェネ旅」編集部が独自の視点から丁寧に取材・執筆し、
質の高い記事コンテンツとして発信いたします。

価値ある情報としての発信

専門メディアの客観的な視点とストーリーテリングを通じて、
読者の深い理解と共感を醸成します。

単なる広告ではなく「価値ある情報」として読者に受け入れられ
やすいため、貴社のブランドイメージ向上に貢献します。

The collage includes:
1. A screenshot of a news article from 'リジェネ旅' (Regene Travel) titled '宜野座村めぐり！ウォーキング&ガストロノミー体験' (Walking & Gastronomy Experience in Ginoza Village). The article features a photo of a red tote bag with 'ONSEN GASTRONOMY WALKING' and 'GINOZA OKINAWA' printed on it, along with a green water bottle and a map.
2. A close-up photo of the same red tote bag and green water bottle sitting on a wooden surface.
3. A photo of a man wearing a blue jacket and a white cap with 'GINOZA' on it, holding up a brochure or map while standing outdoors in a lush, green environment.

記事広告（タイアップ記事）

想定される広告主様

- ・サステナブル関連のソリューション（環境配慮型製品、認証支援、コンサルティング等）を提供する企業様
- ・リジェネラティブな観光を実践・推進している自治体DMO様
- ・先進的な取り組みを行う宿泊施設様や旅行会社様など
- ・活動や思想を業界関係者に深く伝えたい企業・団体様

ご料金

20～50万円（税別）

※記事の文字数、取材形式（オンライン／現地）、写真撮影の有無など、企画内容によって料金が異なります。
貴社の目的とご予算に合わせた最適なプランをご提案いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。

The screenshot shows a website layout for 'リジェネ旅'. At the top, there's a navigation bar with links like 'ホーム', 'サステナブルツーリズム', '社会', '環境', '経済', '用語集', and a search icon. Below the header, a main article is displayed with the title '[報告レポート] オーバーツーリズムからの脱却。京都観光の未来について、若者の視点から考えるワークショップ'. The article content discusses the impact of overtourism on Kyoto and the perspectives of young people. To the right of the main content, there's a sidebar with 'New Posts' featuring various travel-related articles with small thumbnail images.

メールマガジン広告

約4,000人の質の高い登録者に対して、ダイレクトに情報を届けることができるメニューです。

読者の高い関心と信頼を背景に、効果的な訴求が可能です。

高い反応率

一般的なBtoBメールマガの平均クリック率は1~3%ですが、当媒体のクリック率は35~40%と、非常に高い水準を維持しています。

号外広告 / 記事広告連動型

貴社単独の情報を「リジェネ旅」のメールマガジンとして配信。

新サービスやイベントの告知、または記事広告との連動によって、より深い理解とアクションを促します。



リジェネ旅

大分県別府市
新たなウェルビーイング体験の場が誕生
「七日一巡り」

湯治ぐらし株式会社は、3月21日（金）に、湯治リトリートプログラム型滞在施設「七日一巡り（なのかひとめぐり）」をオープンしました。

「七日一巡り」は、日本古来の伝統的な湯治文化を、現代に合わせて再構築したプログラムを特徴としています。

施設は大分県別府市小倉に位置し、温泉地ならではの静寂と自然に囲まれた環境の中で、訪れる人々を深いリラクゼーションに導きます。

七日間の滞在を基本とし、温泉療法、食事、瞑想、森林浴、ヨガなどを組み合わせた総合的なアプローチで心身のバランスを整える、注目のリトリートプログラムです。

リトリートプログラムは、日常から離れて自然や静かな環境の中で心身を整える機会を提供します。ストレスの軽減、自己理解の促進、創造力の向上、ウェルビーイングの向上など、多面的な効果が期待できます。

湯治文化の進化形 3月21日別府にオープン！心と体を整える7日間「七日一巡り」

■ サステナブルツーリズム ■ サステナブルツーリズム ニュース 別府市 持続可能な観光 ◎ 2025年3月21日



メールマガジン広告

想定される広告主様

- サステナブルツーリズム関連のセミナーやイベントの集客
- 新サービス・製品のリリース告知
- キャンペーン案内
- 調査レポートの周知など
- タイムリーな情報発信や具体的なアクションを促したい企業様

ご料金

3~5万円（税別）

※号外広告、通常メルマガ内の広告枠など、配信形式や内容によって料金が異なります。詳しくはお問い合わせください。

ワークショップのご案内



若者が描く、
京都観光の未来
オーバーツーリズムを超えて
2月25日(火) 京都府庁旧本館旧議場

関西の学生さんなら
どなたでも！

この度、京都観光の未来を
若者の視点から考えるワークショップを
開催する運びとなりましたので、
ご案内させていただきます。

今回、ワークショップを開催するのは、
京都府庁旧本館旧議場。

明治時代に建てられた歴史ある建物で、
創建時の姿を今に伝える貴重な建造物です。

普段は一般公開されていないため、
特別な機会でない限り立ち入ることができません。

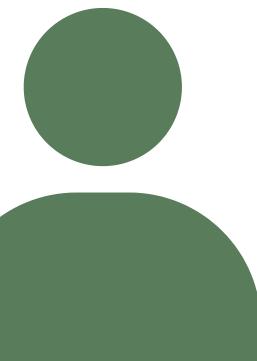
重厚な雰囲気と美しい意匠が特徴で、
歴史の重みを感じさせる特別な空間となっています。

広告メニュー料金表

プラン名	記事広告	メルマガ広告
詳細	製品・サービス、 先進的な地域活性化の事例など 独自視点で取材・執筆。	質の高い登録者に対して、 ダイレクトに情報を届ける。
ボリューム	特集記事 1 本 4,000~5,000字/本	週 1 回 500~1,000字/本
料金	20~50万円（税別）	3~5万円（税別）

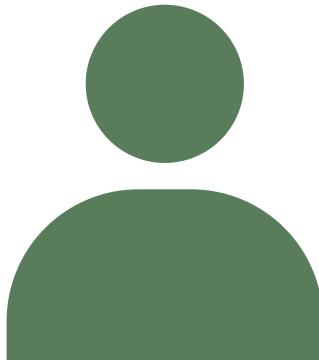
お客様の声

「リジェネ旅」の広告サービスをご利用いただいたお客様から寄せられた、お声の一部をご紹介します。



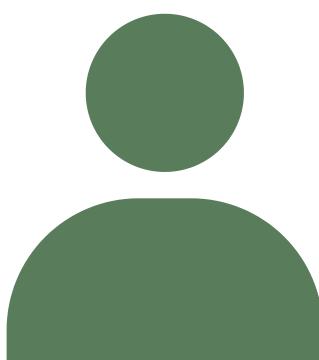
質の高い反響と問い合わせ増を実感

「リジェネ旅」に掲載後、私たちの事業や理念に深く共感してくださる方々からの具体的なお問い合わせが著しく増加しました。丁寧な取材と的確な記事作成にも感謝しております。
(ダイバーシティ＆インクルージョン推進企業 ご担当者様)



新規事業のローンチと初期の成果獲得に貢献

メディアの専門性と読者層の関心の高さから、事業の初期段階における認知度向上と理解促進に繋がり、お陰様で複数の新規契約を獲得することができました。
(新規事業開発に取り組む企業 マネージャー様)



メディアの専門性と丁寧な対応への信頼

リジェネラティブというテーマへの深い知見、そして社会課題への真摯な向き合い方は、読者にとって価値あるものだと感じます。情報発信も丁寧で信頼できます。
(社会貢献活動を行う団体 代表者様)

お問い合わせ

お問い合わせは下記メールアドレス宛にご連絡ください。

service@asueku.com

既存のプラン以外につきましても、ご予算に合わせて柔軟にご対応致します。

リジェネラティブツーリズムの取り組みに対するサポートや、
研修・講習・講演に関しましてもお気軽にご相談ください。

担当： 市川、佐事

